

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-209	高等学校	国語	国語表現	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	国表 050-901	国語表現 改訂版		

1. 編修の基本方針

- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的思考力や共感する力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しむ態度を育み、言葉をとおして他者や社会に積極的に関わる態度を養うことができるよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、さまざまな内容、ジャンルの教材を幅広く取り上げる。
- ・教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動をとおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1部 表現力を培う		
1 言葉と出会う	<ul style="list-style-type: none"> ・表記や語彙の知識、整った文の書き方、相手に応じた言葉遣い、適切な文のつなぎ方など、言葉についての知識と教養を身につけることができるよう、生徒の興味を喚起するクイズや課題を多数掲載した。(第1号) ・「表現への扉」に言葉に関する文章や統計資料を掲載することで、我が国の国語に対する認識を深め、伝統と文化を尊重する態度を育むことができるよう配慮した。(第5号) 	pp. 15-42
2 伝える、伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介やアイスブレイクの活動などの音声言語によるコミュニケーション活動や、絵や写真を見て文章を書いたり自分の身近に起きたできごとをニュース記事にまとめたりする活動をとおして、言語についての幅広い知識と教養を身につけるとともに創造性を養い、他者と伝え合うことの大切さやその喜びを、体験をとおして学ぶことができるよう配慮した。(第1号、第2号、第3号) ・「表現への扉」に他者との伝え合いのヒントになる文章を掲載することで、個人の価値を尊重し、自他の敬愛を重んじる態度を育むことができるよう配慮した。(第2号、第3号) 	pp. 43-62
3 小論文・レポート入門	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文の基礎の学習から、より説得力のある文章を書く学習、文章や統計資料を読み取って書く学習、発想法を用いて創造性を広げながら書く学習、レポートや本格的な論文を書く学習へと、ステップごとに丁寧に書き方を押さえ、論理的で説得力のある文章を書くことができるよう配慮した。(第2号) ・「表現への扉」に、地球環境問題、人工知能とロボット、日本の人口問題や産業構造の変化、ジェンダー・ギャップの問題など、多様なテーマの文章や統計資料を豊富に掲載することで、幅広い知識と教養を培い、公共の精神や男女の平等、自他の敬愛、地球環境を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を育むことができるよう配慮した。(第1号、第2号、第3号、第4号、第5号) 	pp.63-100
4 自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を客観的かつ肯定的にとらえ、自分を社会の中で生かしていく姿勢を育むことができるよう、ライフチャート作り、自己PR、将来の自分を考える学習、志望動機をまとめたり模擬面接を行ったりする学習などを、ステップごとに丁寧に位置づけた。(第1号、第2号、第3号) ・「表現への扉」に、進路や職業について考えたり自分自身を見つめ直したりするための参考になる文章や統計資料を掲載し、個人の価値を尊重し、職業や勤労を重んじ、主体的に社会に参画する態度を養うことができるよう配慮した。(第2号、第3号) 	pp.101-136

<p>5 メディアを駆使する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の基本的な形式を押さえるとともに、参考「手紙のいろいろ」で文豪の手紙などに触れることをとおして、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を育むことができるよう配慮した。(第5号) ・情報社会において他者と円滑なコミュニケーションを行う力を身につけ、インターネットを含む多様なメディアと上手に付き合い、膨大な情報を適切に取捨選択して使いこなす力を育むことができるよう配慮した。(第1号、第3号) ・「表現への扉」に、メディアリテラシーを身につけるための参考になる文章や、デジタルメディアを含む多様なメディアとの付き合い方を考えるための参考になる文章や統計資料を掲載し、真理を求める態度や創造性、公共の精神などを養うことができるよう配慮した。(第1号、第2号、第3号、第5号) 	<p>pp.137-162</p>
<p>6 会話・議論・発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じた言葉遣いや、会議を建設的に運営するための方法、スピーチのしかた、プレゼンテーションソフトなどの視覚資料を用いた効果的な発表のしかたなどを位置づけ、他者とのコミュニケーションを円滑にし、他者と協働しながら社会の一員として貢献する力を育むことができるよう配慮した。(第2号、第3号) ・「表現への扉」に、コミュニケーションの参考になる文章を掲載し、コミュニケーション力を育成したり創造性を培ったりすることができるよう配慮した。(第2号) 	<p>pp. 163-180</p>
<p>読書のひろば</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書のおもしろさや価値を説く文章や、ビブリオバトル、リーダーズシアターといった読書を豊かにする言語活動、図書館の使い方に関する資料などを掲載し、生涯にわたって読書に親しむ態度を育みつつ、幅広い知識と教養や豊かな情操、伝統と文化を尊重する態度を育むことができるよう配慮した。(第1号、第5号) ・リーダーズシアターを行うための題材として、芥川龍之介「羅生門」「蜘蛛の糸」、木下順二「夕鶴」、尾崎紅葉「金色夜叉」、シェークスピア「ロミオとジュリエット」、近松門左衛門「曾根崎心中」を掲載し、我が国の伝統的な言語文化に触れ、優れた文学作品に親しむことができるよう配慮した。(第5号) 	<p>pp. 181-196</p>
<p>第2部 表現を楽しむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に対する興味や関心を高め、言葉の価値に気づき、日本の伝統や文化を尊重する態度を育むことができるよう、「言葉で遊ぶ」「詩歌を楽しむ」を位置づけた。(第1号) ・ひとりひとりの個性を生かしながら他者と協働して表現し、創造性、自主性、自立の精神を養うことができるよう、「無人島で生き残れ」「日常生活の正しい過ごし方」「魅力的なポスターを作ろう」「たほいやゲームをしよう」「みんなで作ろう国語辞典」「私の虫類図譜」を作ろう」「エッセイを書こう」「演説合戦にチャレンジ」「パロディー物語を書こう」「こちら悩みごと相談室」「『問い』を立てて探究しよう」などを位置づけた。(第2号、第3号) ・実際に社会で働く人に取材し、その結果を文章にまとめることを通じて、勤労を重んずる態度を養い、社会性を培うことができるよう、「インタビューをしよう」を位置づけた。(第2号) ・民主主義社会を支える重要な仕組みとして司法制度をとらえ、その制度を理解し支え、他者との言葉のやりとりを通して正義を実現しようとする態度を育むため、「開廷！ 模擬裁判」を位置づけた。(第3号) 	<p>pp. 197-248</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- ・活動の手順をわかりやすく示し、多様な言語活動をスムーズに展開することができるように配慮するとともに、その教材で身につけたい資質・能力を「ポイント」欄等に明示し、実用的な国語の力を着実に養成することができるよう配慮した。
- ・表現することへの関心を高めたり表現の参考になったりする文章や資料を、「参考」や「表現への扉」に豊富に提示し、優れた表現に触れることで表現への意欲がさらに喚起されるよう配慮した。
- ・「表現への扉」に「データを読む」というコーナーを設け、統計資料を的確に読み取りつつ表現につなげる力を育むことができるよう配慮した。
- ・「実践トレーニング」を2箇所設け、原稿用紙の使い方やエントリーシートの書き方、面接の際の言葉遣いなどについて、演習できるように配慮した。
- ・全編を通じて色彩豊かな写真、図版、イラストなどを多用し、表現への興味を高め、積極的に学習活動に取り組む姿勢を引き出すよう配慮した。
- ・「付録」には、「発想法のいろいろ」「話し合いのいろいろ」「敬語のまとめ」「漢字使い分けミニ辞典」を位置づけ、さまざまな学習場面において参照したり、自学自習で活用したりできるように配慮した。
- ・「巻頭口絵」には、さまざまな目的に応じて教科書の該当ページを参照するためのインデックス「表現力を養おう」を位置づけ、「巻末資料」として、「原稿用紙の使い方」を「符号のいろいろ」「横書きの原稿用紙」「縦書きの原稿用紙」に分けて掲載し、生徒の学習活動において随時参照できるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-209	高等学校	国語	国語表現	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	国表 050-901	国語表現 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的思考力や共感する力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しむ態度を育み、言葉をとおして他者や社会に積極的に関わる態度を養うことができるよう配慮する。

●構成

- ・第1部「表現力を培う」においては、現代の高校生が実際の日常生活や社会生活の中で必要とされる表現力を、基礎から着実に身につけることができるよう配慮した。
- ・第2部「表現を楽しむ」においては、表現すること自体を楽しみ、学習活動への意欲を高め、他者と協働しながら主体的に学習に取り組む姿勢を育むことができるよう配慮した。
- ・第1部と第2部の間に「読書のひろば」を置き、読書への興味を喚起し、生涯にわたって読書に親しむ態度を育むとともに、読書と関連する言語活動をとおして理解力や表現力を養うことができるよう配慮した。

●教材化の工夫

- ・単元のとびらにはその単元のねらいを表すリードと学習内容を示し、各教材の冒頭に「目標」を掲げて、身につけるべき資質・能力を意識し、学習の見通しをもちながら学習に取り組むことができるよう配慮した。また、教材末には「チェック」欄を設けて、教材の「目標」を達成できたかどうかを確認できるようにした。
- ・活動の手順をわかりやすく示し、多様な言語活動をスムーズに展開することができるように配慮するとともに、その教材で身につけたい資質・能力を「ポイント」欄等に明示し、実用的な国語の力を着実に養成することができるよう配慮した。
- ・応用・発展的な学習課題「トライ」を適宜位置づけ、生徒のさらなる学習意欲・探究心を引き出すよう配慮した。
- ・目次の後に、「この教科書で身につく力」を掲載し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の観点ごとにねらいとする資質・能力を明示し、確かな学力を身につけることができるよう配慮した。
- ・表現することへの関心を高めたり表現の参考になったりする文章や資料を、「参考」や「表現への扉」に位置づけ、優れた表現に触れることで表現への意欲がさらに喚起されるよう配慮した。
- ・「表現への扉」に「データを読む」というコーナーを設け、統計資料を的確に読み取りつつ表現につなげる力を育むことができるよう配慮した。
- ・「実践トレーニング」を2箇所設け、原稿用紙の使い方やエントリーシートの書き方、面接の際の言葉遣いなどについて、演習できるよう配慮した。
- ・全編を通じて色彩豊かな写真、図版、イラストなどを多用し、表現への興味を高め、積極的に学習活動に取り組む姿勢を引き出すよう配慮した。

●付録

- ・「付録」には、「発想法のいろいろ」「話し合いのいろいろ」「敬語のまとめ」「漢字使い分けミニ辞典」を位置づけ、さまざまな学習場面において参照したり、自学自習で活用したりできるよう配慮した。

●その他

- ・「この教科書で身につく力」を掲載し、学習者が自ら目標をもって学習に取り組むことができるよう配慮した。

